

インターバンクの声（2016 年 6 月 13 日）

金曜日の帰り際、元日本銀行の審議委員で安倍首相にも近い中原氏が、今週の、日銀金融政策決定会合で、長期国債の買い入れ増加のペースを年100兆円にすべきとの考えを示し、「アベノミクス再出発の号砲を鳴らすなら、なるべく早く決意を見せたほうがよい」とインタビューで発言したことが伝わった。ドル/円が106円台後半から107円台に乗せてきた時間帯と中原氏の発言が伝わったのが丁度重なっていたようでもあったが、どうもロンドン勢のポジション調整によるドル買いが107円台乗せの背景だったようだ。勿論、実際に今週木曜日に日銀が動けば市場もそれなりに反応するだろうが、足許の市場が神経質になっているのは、米連邦公開市場委員会 (FOMC) や日銀会合よりも23日に行なわれる欧州連合 (EU) からの離脱・残留の是非を問う英国の国民投票の方だ。ロンドンの朝方に107円台に乗せた後、再び106円台に下げて再度ニューヨーク市場で107円台を回復していたが、最新の英国国民投票に対する世論調査でEU離脱派が残留派を10ポイント上回ったことが伝わると、ドルが急落した。当然ながら英ポンドは大きく下落した。FOMCと日銀会合も気になるが、英世論調査に振り回されることも増えそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。